

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、プロロセントラム シグモイデスが最大177.2細胞/ml確認されました。これらのプランクトンは基本的には魚介類には無害ですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、結果として魚介類を弱らせてしまう可能性があるため、今後海色や飼育魚の状態に注視してください。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.4細胞/ml、ギムノディニウム カテナータムが最大0.1細胞/ml、二枚貝類を着色させる可能性のあるメソディニウム ルブラムが最大で4.5細胞/ml確認されました。確認されました。

本日の調査においては、全調査地点にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（本日は、海水100mlを1mlに濃縮してプランクトンの検鏡を実施しております。）

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	プロロセントラム シグモイデス	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム	メソディニウム ルブラム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)				
片島（別図⑦） 採水時間 9:00 透明度 - m	0.0	-	-	-	177.2	0.2	0.0	0.0
	5.0	-	-	-	0.3	0.0	0.0	0.0
藻津定点（別図⑨） 採水時間 9:16 透明度 - m	0.0	-	-	-	0.1	0.0	0.0	0.0
	10.0	-	-	-	4.3	0.2	0.0	0.0
宿毛湾中央（別図⑤） 採水時間 9:25 透明度 - m	0.0	-	-	-	2.8	0.0	0.0	0.0
	10.0	-	-	-	1.9	0.0	0.0	0.0
青瀬山（別図③） 採水時間 9:40 透明度 - m	0.0	-	-	-	1.5	0.3	0.0	0.0
	10.0	-	-	-	0.6	0.0	0.0	0.0
ヒロウラ（別図①） 採水時間 10:10 透明度 - m	0.0	-	-	-	20.1	0.0	0.0	4.5
	10.0	-	-	-	3.3	0.4	0.1	0.0

※本日の調査においては測定機器の使用不可により水温、塩分及び溶存酸素濃度を計測できなかったため、各項目が未記載となっております。